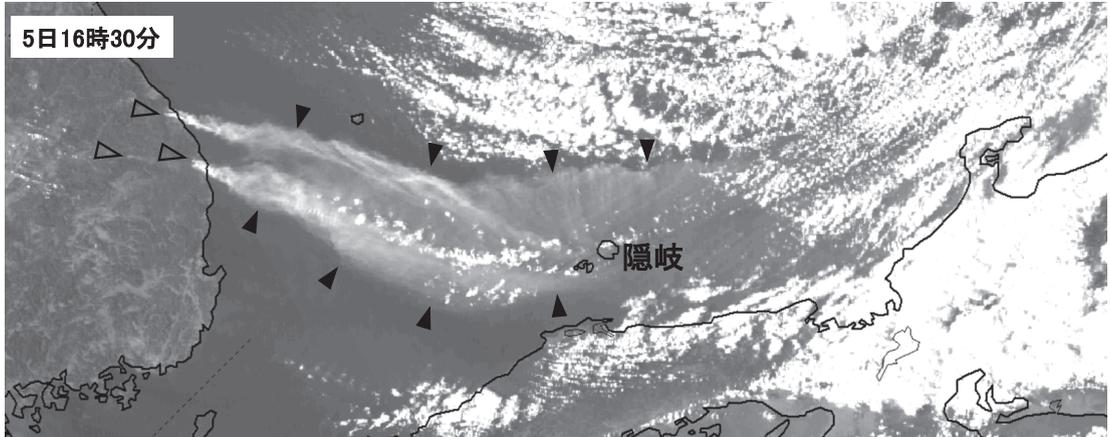


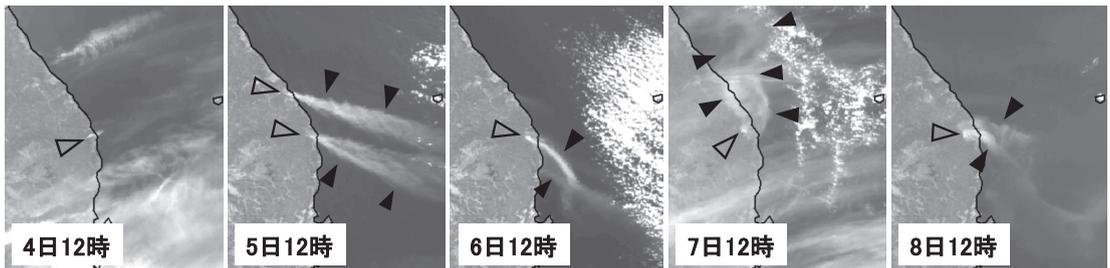


今月のひまわり画像—2022年3月

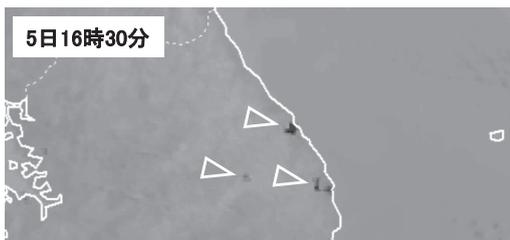
朝鮮半島で発生した大規模な火災



第1図 2022年3月5日16時30分（日本時間）の日本海西部における可視画像。△印の先端は可視画像で判別できる火災の発生地点を，▲印の先端は火災による煙を示す。



第2図 4日～8日の12時00分の朝鮮半島の火災発生地点付近における可視画像。



第3図 5日16時30分の赤外画像（バンド07）。△印の先端は赤外画像で判別できる火災の発生地点を示す。

2022年3月4日に朝鮮半島東部（韓国）で発生した火災は、大規模なものとなって、13日に鎮火するまで長期間続いた。

第1図は、5日16時30分の可視画像である。朝鮮半

島東部で発生した火災による煙が、日本海西部を東南東へ流れたのち、隠岐付近では東へ流れていることが判別できる。第2図は、4日～8日の12時における可視画像である。煙は4日には火災の発生地点でわずかに判別でき、5日～8日は明瞭に判別できる。また、第3図は、5日16時30分の観測波長帯 $3.9\mu\text{m}$ の赤外画像（バンド07）である。このバンドでは、火災はホットスポットと呼ばれる周辺の地面より非常に温度の高い黒い点として判別でき、同図では3か所のホットスポットが判別できる。

可視画像でも明瞭に判別できるほどの煙が流入した隠岐では、空は白い“もや”がかかったように見えていたのではないかと推察される。

（札幌管区気象台気象防災部予報課 西 峰雄）